

# つちだりポート

## 打てず・守れず 関東選抜リーグ戦 3 連敗

### 先発古田投手 7 回まで 3 安打・8 回に打たれる

四球	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
安打	1	0	0	1	0	0	1	0	0	3
明治安田生命	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
新日鉄住金鹿島	0	0	0	0	0	0	0	3	X	3
安打	0	1	0	0	1	1	0	3	-	6
四球	0	1	0	0	0	1	0	1	-	3

明治安田生命 ×古田 7・1/3(自責点 2) 岡 1/3(自責点 0) 大久保 1/3(自責点 1)―尾嶋

新日鉄住金鹿島 石川 5 藤原 1 矢治 2/3(自責点 1)○ 島田 1・1/3 山井 1---片葦

二塁打 渡部・藤本 三塁打渡部 本塁打高島(代打 2 ラン) 以上新日鉄住金鹿島

3 月 23 日東京都企業春季大会 JR 東日本戦以来久しぶりの観戦。初夏を思わせる絶好の野球日和の大田スタジアム 9 時 48 分プレーボールのサイレンと共に 1 番増野選手初球をレフト前にクリーンヒット続く 2 番宮川固く犠打で一死二塁のチャンス 3 番本田積極的に初球から攻めるもファスト凡フライ続く 4 番大野も初球から攻めるもセンターへ凡フライでチャンスを潰す。初球攻撃は消して悪くはないがこの回は全て 1~2 球目の攻撃、チャンスにも関わらずこの回相手投手の球数はわずか 5 球で攻撃が終わった。

ここはじっくり攻め自分の好きなコース・球種を絞り好球必打に徹することだ。

投手はストライク先行で相手バッターを攻める事が肝心。バッターは相手投手に多くの投球をさせ失投を呼び込み好打するのが肝心である。

試合は両軍投手の好投と明治安田の内野手木内・井村・島田の好プレーで投手を助ける展開、特に 6 回一死二・一塁での内野手のサーインプレーで一塁ランナーを投手けん制で刺したプレーは見事、ピンチを切り抜けた。ピンチの後にチャンスあり(野球の格言)先頭打者 3 番本田が四球で出塁 4 番大野が確実に送り 5 番竹内の強烈なファストゴロの進塁打となり続く 6 番島田の三塁ベース寄りのゴロがタイムリー内野安打となり先取点を獲得する。

先発古田投手 8 回に捕まる。先頭打者に右中間を抜かれ三塁打、次打者にライトへ犠牲フライを打たれ同点にされ続いてライト前ヒット、ここで古田降板岡投手に繋ぎレフトフライに打ち取り 2 死一塁から代打を送られ投手岡からエース格大久保にバトンタッチするも 2 ボール 1 ストライクからの 4 球目をレフトスタンドに決勝 2 ランで万事休す//

攻撃は前半に先頭打者出塁が 3 回あるも繋ぐ打撃が出来ず相手の継投策に 3 安打に抑えられた。

公式戦の敗退原因は勝越しのリードを守り切れず全て逆転負け特に 7 回以降の失点と繋ぐ打撃が出来ないのが弱点である。都市対抗野球本大会連続出場チームは 1 点を守り 1 点を勝ち取る事が出来るチーム作りを目指して日頃の練習に励んでいる//

都市対抗東京都予選まであと 1 ヶ月与えられた戦力と環境で勝つ野球を日々の練習に取り入れ一人一人か勝負に勝つ自覚を持って何が何でも代表を勝ち取ってください。

平成 27 年 4 月 28 日

土田唯雄